

Anritsu

クイックリファレンスガイド

MT1100A

ネットワークマスタ フレックス

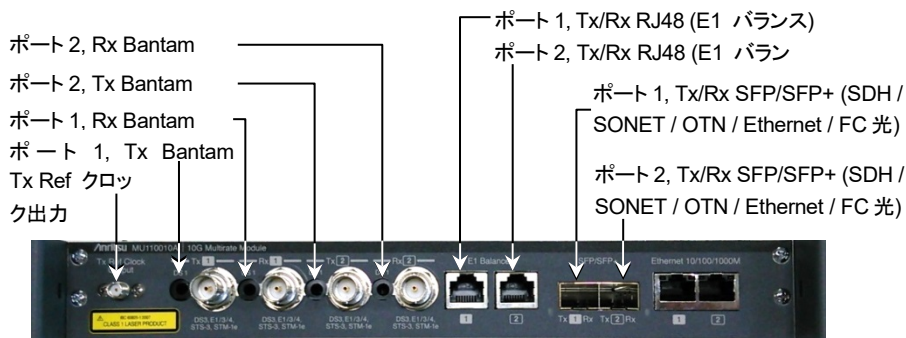
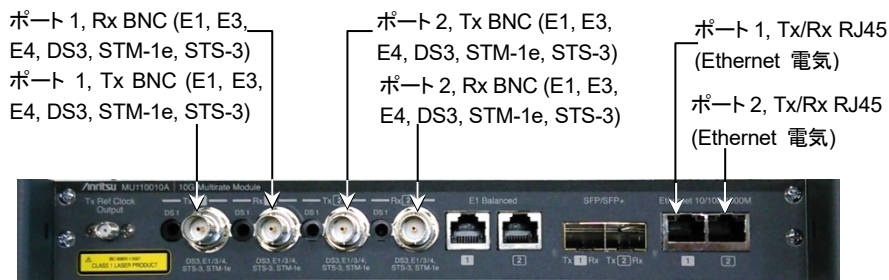


第8版

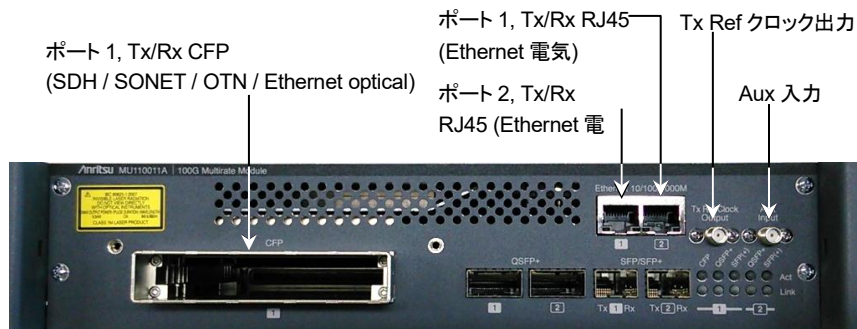
- ・ 製品を適切・安全にご使用いただくために、製品をご使用になる前に、本書を必ずお読みください。
- ・ 本書に記載以外の各種注意事項は、MT1100A ネットワークマスタ フレックス取扱説明書に記載の事項に準じますので、そちらをお読みください。
- ・ 本書は製品とともに保管してください。

テストインタフェース

MU110010A 10G マルチレートモジュール



MU110011A 100G マルチレートモジュール

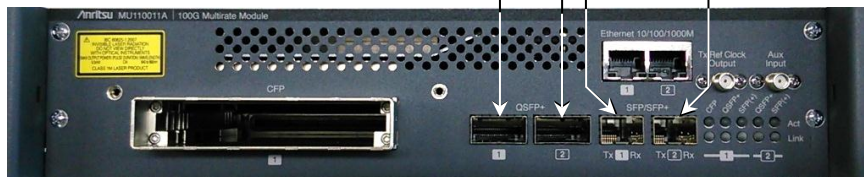


ポート 2, Tx/Rx SFP/SFP+
(SDH / SONET / OTN / Ethernet / FC 光)

ポート 1, Tx/Rx SFP/SFP+
(SDH / SONET / OTN / Ethernet / FC 光)

ポート 2, Tx/Rx QSFP+
(OTN / Ethernet 光)

ポート 1, Tx/Rx QSFP+
(OTN / Ethernet 光)



MU110012A 40/100G モジュール CFP2

ポート 1, Tx/Rx CFP2 (OTN / Ethernet 光)

ポート 2, Tx/Rx CFP2 (OTN / Ethernet 光)

ポート 1, Tx/Rx CXP
(Ethernet 光)

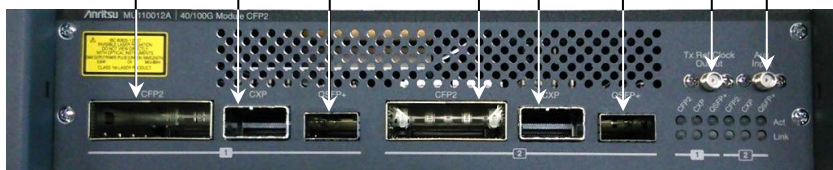
ポート 2, Tx/Rx CXP
(Ethernet 光)

ポート 1, Tx/Rx QSFP+
(OTN / Ethernet 光)

ポート 2, Tx/Rx
QSFP+ (OTN /
Ethernet 光)

Tx Ref クロック出力

Aux 入力



MU110013A 40/100G アドバンスドモジュール

ポート 1, Tx/Rx CFP2 (OTN / Ethernet 光)

ポート 2, Tx/Rx CFP2 (OTN / Ethernet 光)

ポート 1, Tx/Rx CXP
(Ethernet 光)

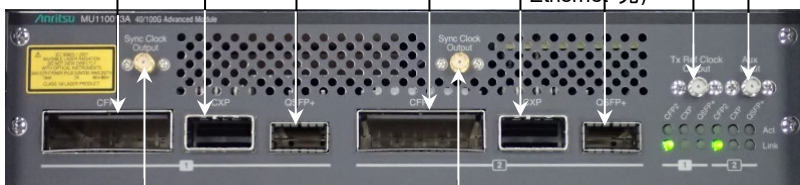
ポート 2, Tx/Rx CXP
(Ethernet 光)

ポート 1, Tx/Rx QSFP+
(OTN / Ethernet 光)

ポート 2, Tx/Rx
QSFP+ (OTN /
Ethernet 光)

Tx Ref クロック出力

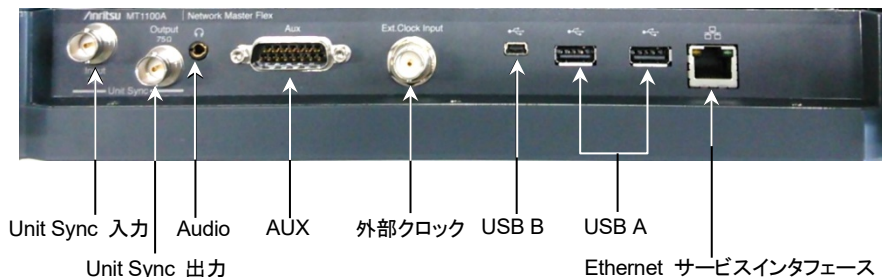
Aux 入力



ポート 1, Sync クロック出力

ポート 2, Sync クロック出力

MT1100A サービスインタフェース



ネットワーク マスタ フレックスには、機器とテスト アプリケーションを操作するためのタッチパネルが装備されています。

機器の電源がオンのとき、電源ボタンはメニュー ボタンとしても機能します。

MU110001A を装着している場合、電源は交換可能な充電式 14.4V インテリジェント リチウムイオン バッテリ、または AC ケーブルにより供給されます。バッテリーは、機器の側面から取り外すことができます。バッテリーのふたは、ロックネジにより固定されています。

MU110002A を装着している場合、電源は AC ケーブルにより供給されます。

電源オン/電源オフ

電源をオンにするには:

1. 電源ボタンを押します。

[アプリケーションセレクト] 画面が表示されます。この画面では、アプリケーションを起動するか、[結果ファイルブラウザ] 画面に移動して前回のテストの結果を表示することができます。

電源をオフにするには:

1. 電源ボタンを押して、電源オフ メニューを開きます。
2. メニューで [シャットダウン] をタッチします。
3. [測定器をシャットダウンする。] ダイアログで [はい] をタッチします。

強制電源オフ:

MU110001A を装着している場合、AC ケーブルを外して、機器の電源がオフになるまで電源ボタンを押し続けます。

電源ボタンのメニュー

電源オフのために電源ボタンを押すと開くメニューには、次の 3 つのメニュー項目があります。



- **画面をキャプチャする** – 現在表示されている画面のイメージを PNG 形式で保存します。
- **画面をロックする** – 画面をロックまたはロックを解除します。
- **シャットダウン** – 機器をシャットダウンして電源をオフにします。

アプリケーションの選択

多くの種類のアプリケーションを使用できます。表示されるアプリケーションは、機器にインストールされているオプションによって異なります。[アプリケーションセレクト] 画面で対応するアイコンをタッチすることで、関連するアプリケーションを選択します。



非表示アイコンの表示

初期状態のアプリケーション行に表示しきれないアプリケーション アイコンがある場合は、該当の行をスクロールすることで、隠れているアイコンを表示できます。

二重アイコン

OTN レイヤ付きで実行できるアプリケーションは、OTN オプションの有無にかかわらず二重アイコンで表示される点にご注意ください。アプリケーションを OTN オプション付きで起動するには、アイコンの [+ OTN] の部分をタッチします。

アプリケーションの起動

アプリケーションを起動するには、関連するアプリケーション アイコンをタッチします。コネクタの図が表示されますので、コネクタをタッチして必要なポートを選択し、[選択] をタッチします。

緑色のマークは、ユーザが選択したポートを示しています。赤色のマークは、別のアプリケーションにより選択されているポートを示しています。

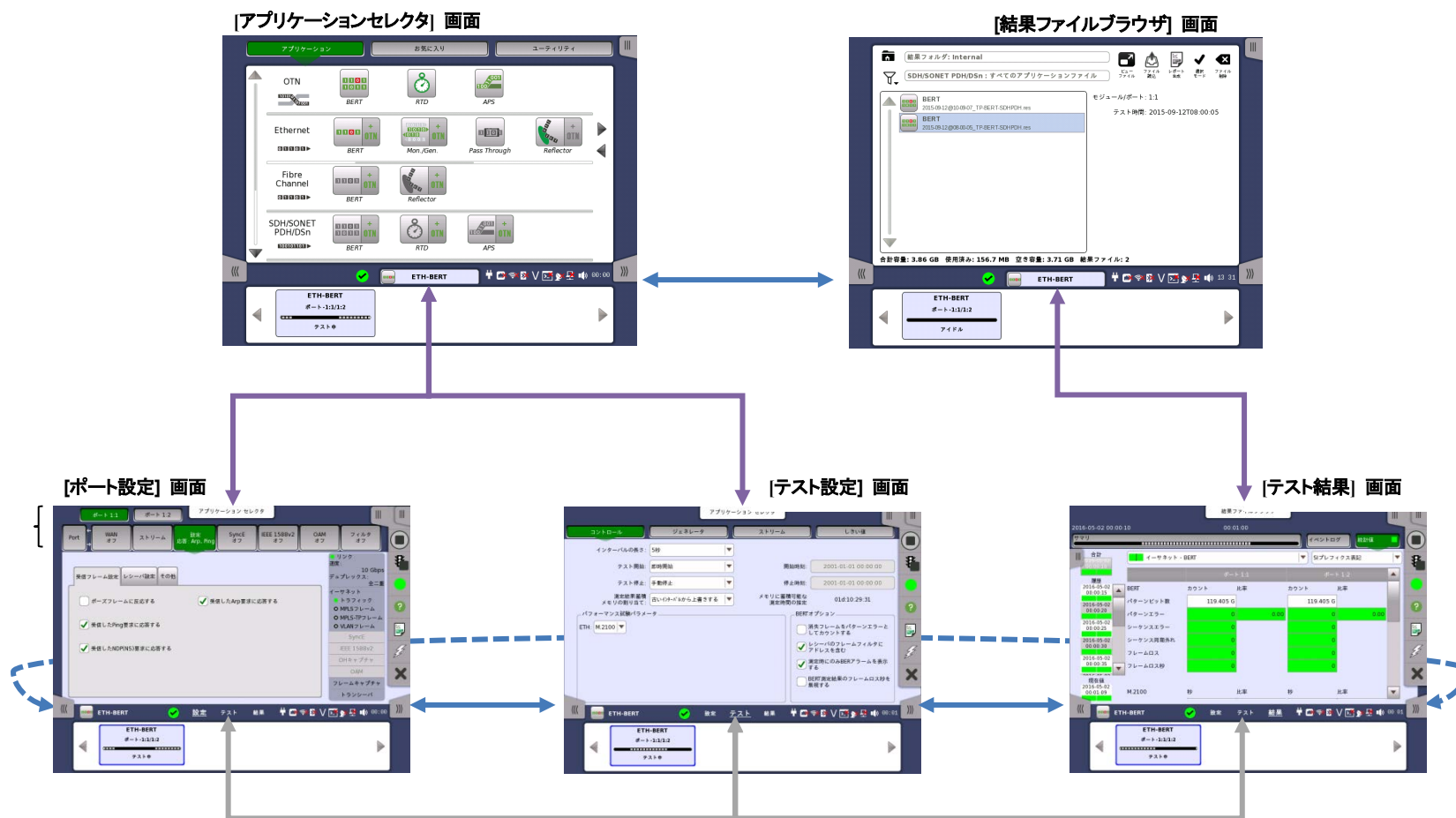
基本画面とナビゲーション

GUI には、アプリケーションのセットアップと実行のガイドが表示され、関連するポートを先に設定してから、実際のテストをセットアップして実行するように求められます。次の画面に移動するには、画面のボタンの角に表示されたタブをタッチします。

次の図に示すように、各種画面間を縦方向あるいは横方向に自由に移動できます。

各画面には、多くのサブ画面があり、画面の上部(画面の「ナビゲーション エリア」)に表示されたタブやボタンを使用してアクセスできます。

[ポート設定] 画面では、ナビゲーション エリアのボタンは物理ポート、信号レイヤなどに関連し、ポートに固有の設定パラメータを含む画面を表示します。

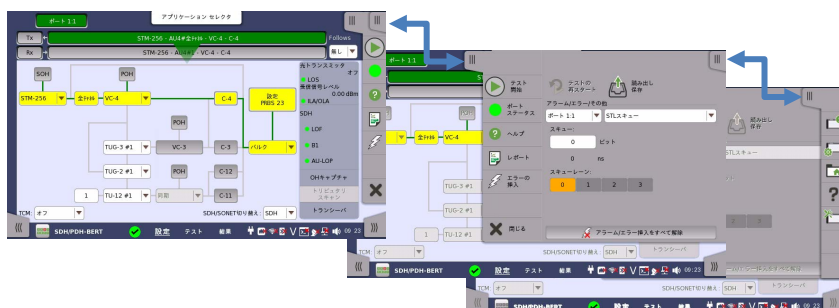


全般的な機能

エラー/アラームの挿入、テストの開始/停止、レポートの生成などの全般的な機能は、拡張表示が可能なツールバーに配置できます。GUI には、そのようなツールバーが 2 つあります。

- すべての画面で使用できる **機器ツールバー**。
- 特定のアプリケーションに関連する画面で使用できる **アプリケーションツールバー**。

ツールバーは、画面の右側に配置され、画面の右上角のアイコンを押すことで展開したり、折りたたむことができます。アプリケーション画面では、展開されたアプリケーション ツールバー内から **機器ツールバー** にアクセスできます。



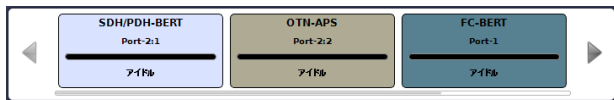
ツールバーで使用できる機能には次のようなものがあります。

- | | | | |
|--|-----------------------|---|-------------------|
|  | テストを開始します。 |  | 機器情報を表示します。 |
|  | テストを停止します。 |  | 機器を設定します。 |
|  | トラフィックの送信を開始します。 |  | ファイルマネージャ |
|  | トラフィックの送信を停止します。 |  | ヘルプ画面を表示します。 |
|  | 現在のテスト結果からレポートを生成します。 |  | リソースモニタリング |
|  | エラー/アラームを挿入します。 |  | 現在のアプリケーションを閉じます。 |

ネットワーク マスタ フレックスの使用

複数のアプリケーションの実行

異なるポートに割り当てられた、複数のアプリケーションを同時にアクティブにすることができます。アプリケーション切り替えを表示することで、各アプリケーションの進行状況を確認している間に、アプリケーションを簡単に切り替えることができます。画面の下部に表示される [アプリケーションセレクト] のボタンをタッチしてアプリケーション切り替えが表示されます。



アプリケーション切り替え

後で使用するためのインタフェース/テスト設定の保存

インタフェースやテスト パラメータの設定の一部またはすべてを、後で使用するために保存できます。設定は、機器内部に保存されますが、USB メモリ スティックを使用して別の機器に送ることができます。

言語の選択

GUI の言語は、機器ツールバーにある [Language] で選択できます。

リモート制御

ブラウザまたは VNC を使用して、PC からネットワーク マスタ フレックスをリモート制御することができます。

接続にはインターネットブラウザまたは VNC ツールを使用します。ブラウザの場合はポート 5800、VNC の場合はポート 5900 に接続してください。ブラウザには Java バージョン 7 以前を使用してください。Java 8 でのリモート制御はサポートしていません。

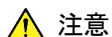
ブラウザの例: <http://192.168.x.x:5800/>

VNC の例: 192.168.x.x:5900



アイコンをタッチして、リモート制御の有効/無効を切り替えることができます。

モジュールの交換



注意

モジュール交換作業は、静電対策されたテーブルで実施してください。

モジュールの取り外し

1. 作業をする前に電源コードを外し、バッテリーパックを必ず取り外してください。



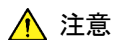
2. ネットワークマスタの正面パネルを下にして置きます。
3. 電源モジュールの背面パネルにある4隅の穴(黄色の丸印)に Z1862A を挿入します。



4. すべてのネジを緩めたら、電源モジュールの両側を持ち上げて取り外します。取り外すと、マルチレートモジュールの側面が見えます。
5. マルチレートモジュールを取り外すには、電源モジュールと同様にネジを外してください。

モジュールの取り付け

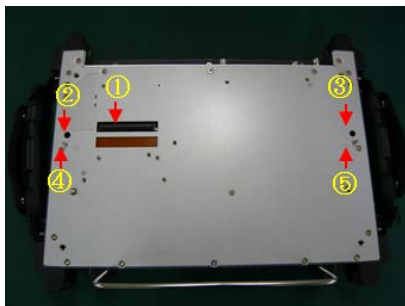
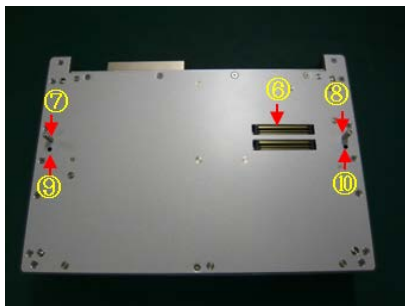
1. ネットワークマスタの正面パネルを下にして置きます。
2. MU110011A を MT1100A に取り付けます。以下が組み合うように MT1100A の上に置きます。1 - 6, 2 - 8, 3 - 7, 4 - 10, 5 - 9.



注意

ガイドピン (4, 5, 7, 8) がコネクタ (1, 6) にぶつからないようにしてください。モジュール7を取り付けるときは四隅を合わせてください。

コネクタが破損する原因になります。



3. MU110011A を片手で抑えながら、Z1862A で四隅のネジ(黄色の丸印)を締めます。

モジュールが脱落しないように、しっかりと締めてください。



4. MU110001A を MU110001A の上に置きます。MU110001A を取り付ける手順は、MT1100A に MU110011A を取り付ける手順と同様です。



5. モジュールの取り付けが終わりましたら、バッテリーの装着や、電源ケーブルの接続をしてください。



アンリツ株式会社

再生紙を使用しています

Printed in Japan